

琉球大学医学部医学科同窓会 副会長に就任して

医学科同窓会 副会長 屋 良 さとみ (5期生)
(琉大 医学教育企画室 准教授)



5期生の屋良さとみです。今回の紙面上でも何度かお目にかかります。

早いもので、去る7月には、「第20周年記念医学科同窓会」

が盛大に執り行われました。そして私の学年が卒業後21年を迎えておりますので、私が卒業した翌年に医学科同窓会が発足された事となります。縁あって、私は発足の前の「同窓会発足準備委員会」の頃から立ち上げに関わらせて頂いて、同窓会にとっては“古参”の一人です。

そして初代会計であった3期生の渡嘉敷みどり先生が、数年間会計を取り仕切ってくださった後、二代目会計に就任し延々今年度まで務めさせていただきました。(というより、同窓会事務の上原真知子さんがいらっしゃってこそその会計でした！臨床の医者業務をやりながらでは同窓会会計業務を自分一人だけで行うのは到底無理な状況です。上原さんにはこの場を借りて心より感謝申し上げます。)

そして今回、卒業生も26期生を迎え、同窓会も規模が大きくなって参りました。

役員の仕事量やフォローすべき事柄も今後増え

ていくであろうとのことで、“副会長”をこれまでの2人から3人にしてはとの提案が役員の中から出てきました。またこの度、長年勤めてきた“会計”業務を引き受けて下さるとの快諾を10期生の平良民子先生から頂けて、“古参”の私が3人目の“副会長”にとのお声がかかりまして、評議委員会での承認と去る7月の総会での議決も頂き、“副会長”となりました。

長年携わってきた同窓会でありますので、内容はほぼ知っているというところですが、医学生“医学教育”というものも、全国的・全世界的にどんどん発展していて、琉球大学でもそれに追いついて行かなければならない状況にあり、学生会員さんからも入学時にまとめて会費を頂いていることもあり、卒業後の同窓生正会員のみならず学生会員の皆さんのためにも、同窓会は益々発展していく必要があります。(正会員のための新たな企画等も考える必要があります。)

今後共、これまで以上に同窓会会員の皆様のために、微力ながら尽力していく所存ですので、皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。